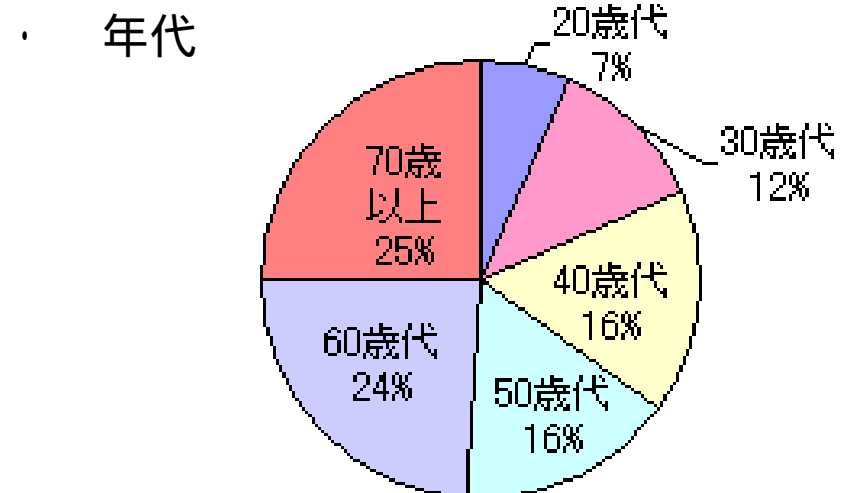
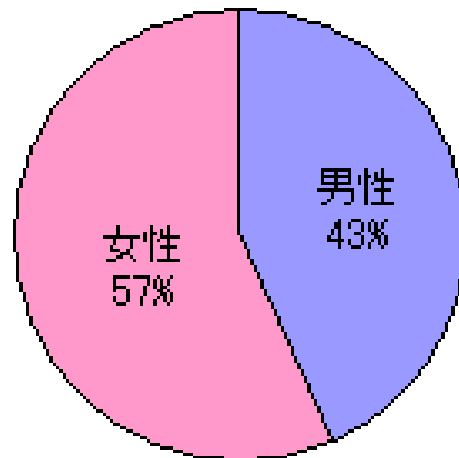


中心市街地活性化に関する 市民満足度調査結果

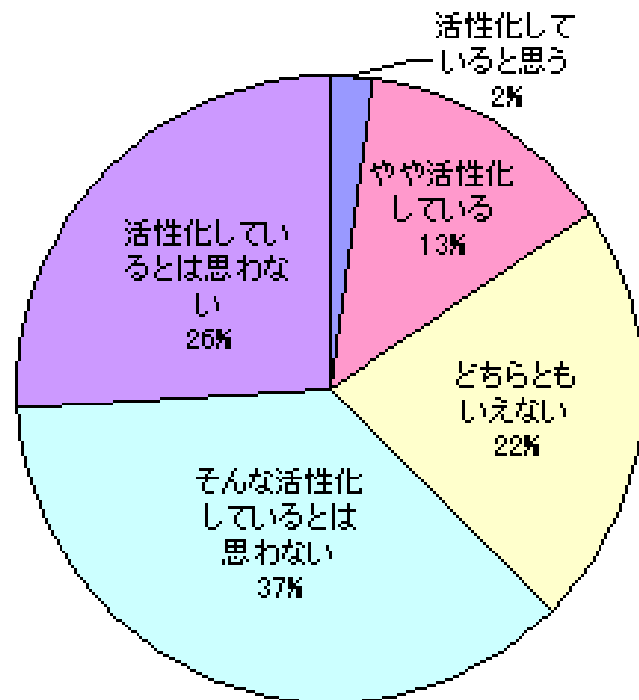
市民アンケート調査概要

- 調査目的
中心市街地活性化に係る成果の検証今後の施策の優先度を検討するための基礎的データ
- 調査時期 平成23年7月14日～7月31日
- 調査方法 郵送配布・回収
- 調査対象 長野市に住民登録のある方2,000人
年齢階層及び居住地を考慮、無作為に抽出
- 回答者数 930人
- 回答率 46.5%
- 性別

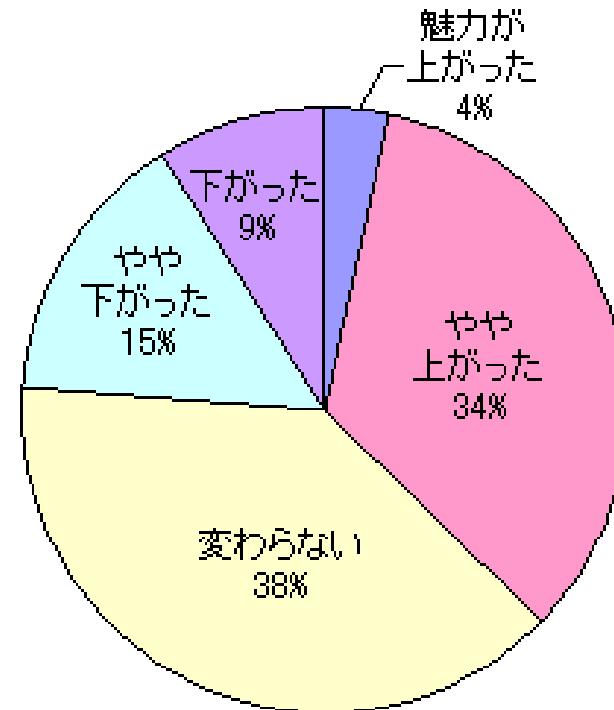


市民アンケート調査結果

中心市街地の活性化への評価



5年前と比較した時の中心市街地の魅力



アンケート調査から導かれた課題等

買い物、飲食が主要目的であるが、買いたい商品が無いとの不満が多いことから、魅力的な商店の活性化が必要である。

散歩や散策等で訪れる人が著しく少なく、幅広い世代が楽しめる憩いの空間、イベント等に活用できる広場、緑地などの環境整備のニーズが高い。
歩きたくなる魅力的な環境の整備により、まちなかへの賑わいを喚起し回遊性の向上を目指す必要がある。

善光寺門町としての歴史的景観の保全、修景助成の実施、道路美装化、電線類地中化による効果が現れてきており、満足度は高い。

交通体系の整備、見やすくわかりやすい公共サインの設置、わかりやすい駐車場の整備等、まちなかの移動の利便性に結びつく取り組みが求められる。

安心安全な居住環境に対する満足度が高い反面、住みたい、住み続けたいまちとしての満足度が非常に低く、まちなか居住に対するハード、ソフト両面からの住環境整備の施策が求められる。